



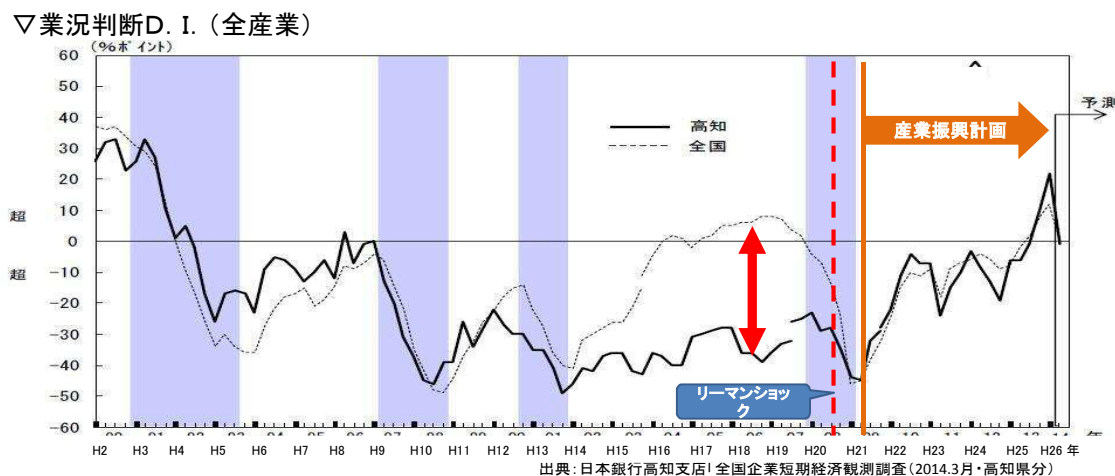
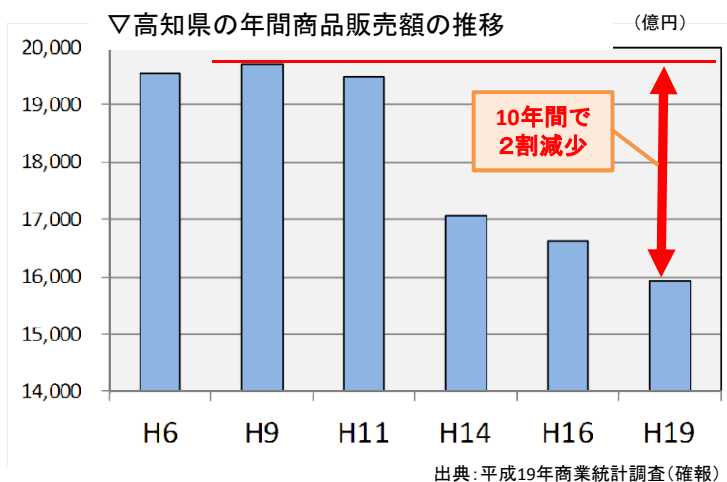
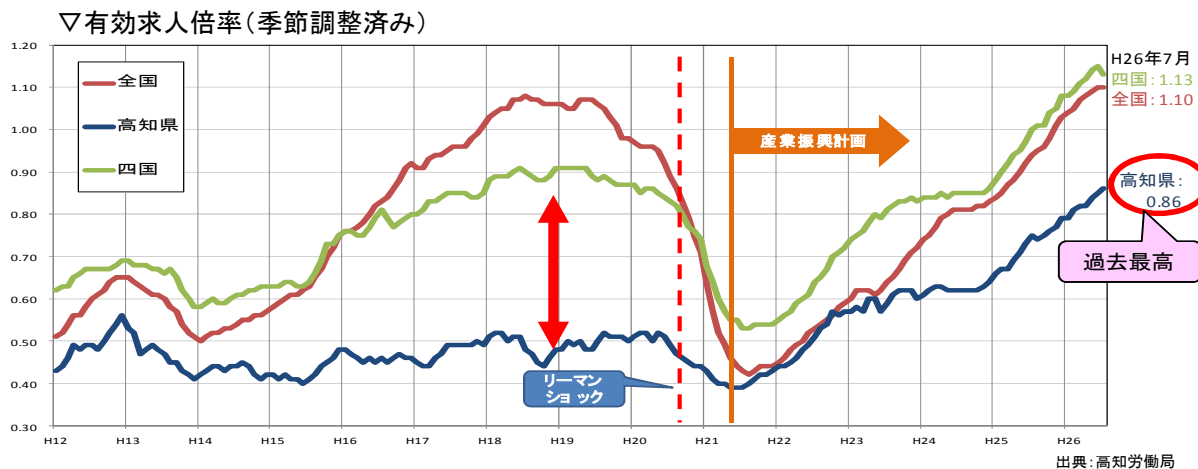
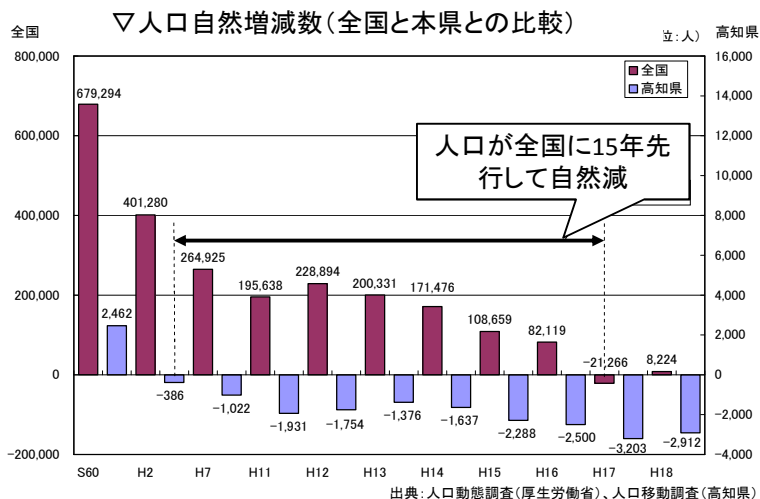
地方創生に向けた 高知県の取り組み

平成26年11月6日

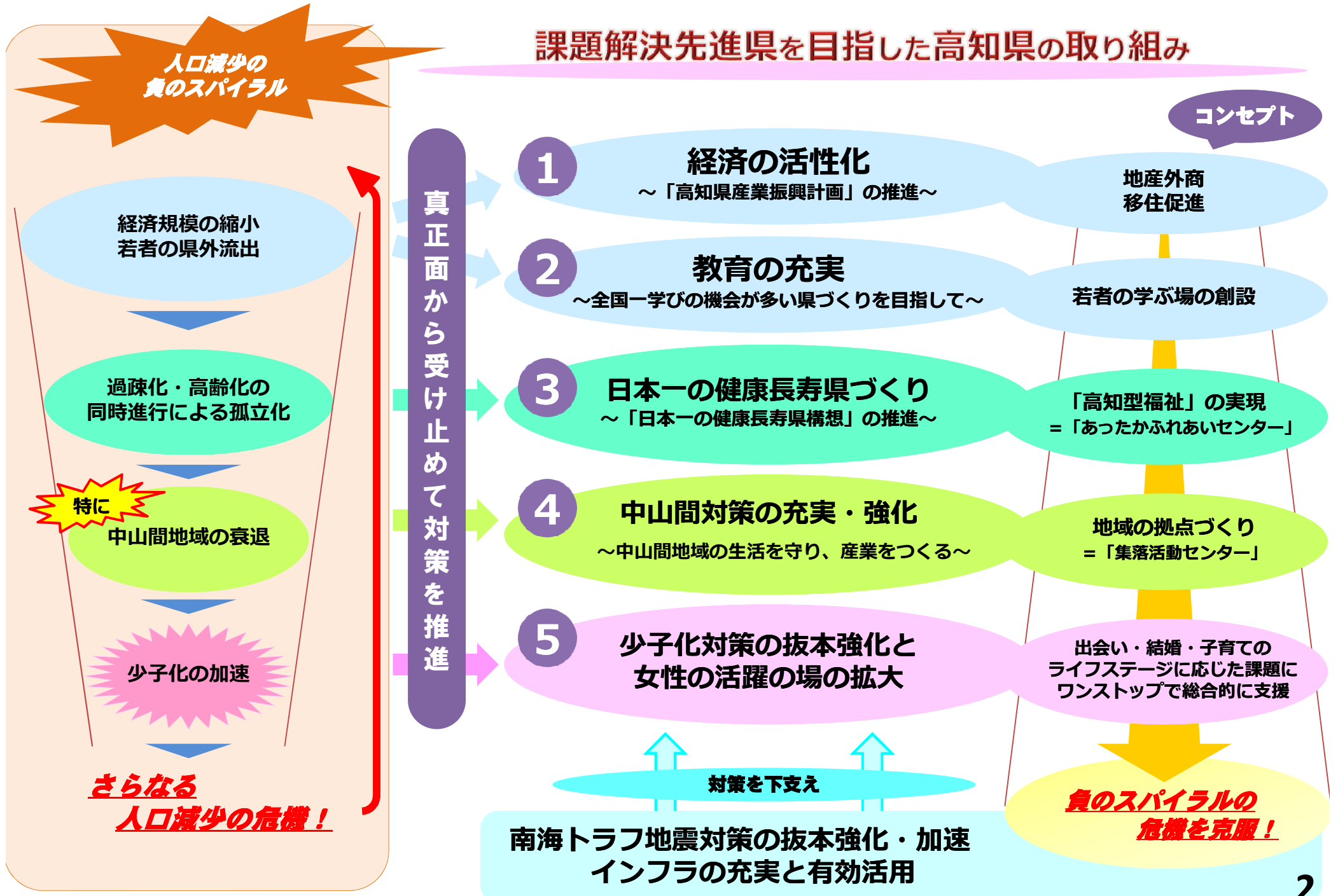
高知県の経済情勢

- 人口の自然減・高齢化の進展などにより、
- 平成9年から19年にかけて県内市場はどんどん縮小

- 平成14年から22年頃にかけて景気の回復の波に乗れず、全国平均等に大きく引き離される状況が続いてきました
- 今は、全国と同じように上がってきてつつあります



課題解決先進県を目指した高知県の取り組み



地域アクションプランの推進

◆ 県内7つのブロックに置く産業振興推進地域本部において、**245の地域アクションプラン**の取り組みをサポート

県内各地で新たな加工品等が誕生

地産を強化!



高知県産業振興計画 〈計画の全体像〉

人口の自然減・高齢化の進展等により、
県内市場はどんどん縮小
[平成9年からの10年間で県内の市場規模(年間商品販売額)は約2割減少:約2兆円→約1.6兆円]

《高知県経済を立て直すための全体戦略》
活力ある県外市場にモノを売って外貨を稼ぐ「**地産外商**」を進める

しかし、「地産外商」を進めるには課題が… (計画策定当時の状況)

課題①

- 人口減少により縮小を続ける県内市場頼り
- 大消費地から遠く、「外商」に挑戦しようとしてもハードルが高い

基本方向1

- 「足下を固め、
活力ある県外市場へ
打って出る」
- ◆官民協働で「外商」を強化する
 - ◆県外からの観光客の誘客を強化する

課題②

- 「外商」ができる付加価値の高い商品が少ない
- 加工の工程も県内で完結しないため、お金が県外に流出

基本方向2

- 「産業間の連携を
強化する」
- ◆ものづくりを強化し、付加価値を高める

課題③

- 担い手の減少により、「地産」が弱まっている
- 強みである第一次産業さえも強みでなくなりつつある

基本方向3

- 「足腰を強め、
地力を高める」
- ◆第一次産業を伸ばす
 - ◆地域アクションプランを推進
 - ◆中山間対策を強化する

課題④

- 資本や産業集積が乏しく、本県産業を牽引する企業が少ない

基本方向4

- 「新たな産業づくりに
挑戦する」
- ◆新たな産業集積を目指す

第2期計画から新たに挑戦

さらなる一手として

全体を下支え

課題⑤

- 基本方向1～4を進めるためには、本県産業をリードする産業人材が不可欠であるが、地方では、学びの機会が少ない

基本方向5

- 「産業人材を育てる」
- ◆学びの場を創り出し、産業人材を育てる

第2期計画ver.2から追加

基本方向6

- 「移住促進により、
活力を高める」
- ◆移住促進により、活力を高める

課題⑥

- 生産年齢人口や担い手の減少により、地域や経済を支える人材が不足している

都市から地方への新しい『ひと』の流れをつくる ～高知県の移住促進策～

◆ H25に移住促進策を抜本強化。移住に至るまでの段階に応じたきめ細かな施策を展開



取り組みの実績

	H23実績	H24実績	H25実績
県移住ホームページ「高知家で暮らす」アクセス数	50,150件	247,365件	342,980件
相談者数	—	1,259人	1,817人
暮らし隊会員登録者数	371人	503人	690人
移住者数	120組241人	121組225人	270組468人
上記のうち県の相談窓口を通じた移住者数	47組104人	64組111人	91組168人

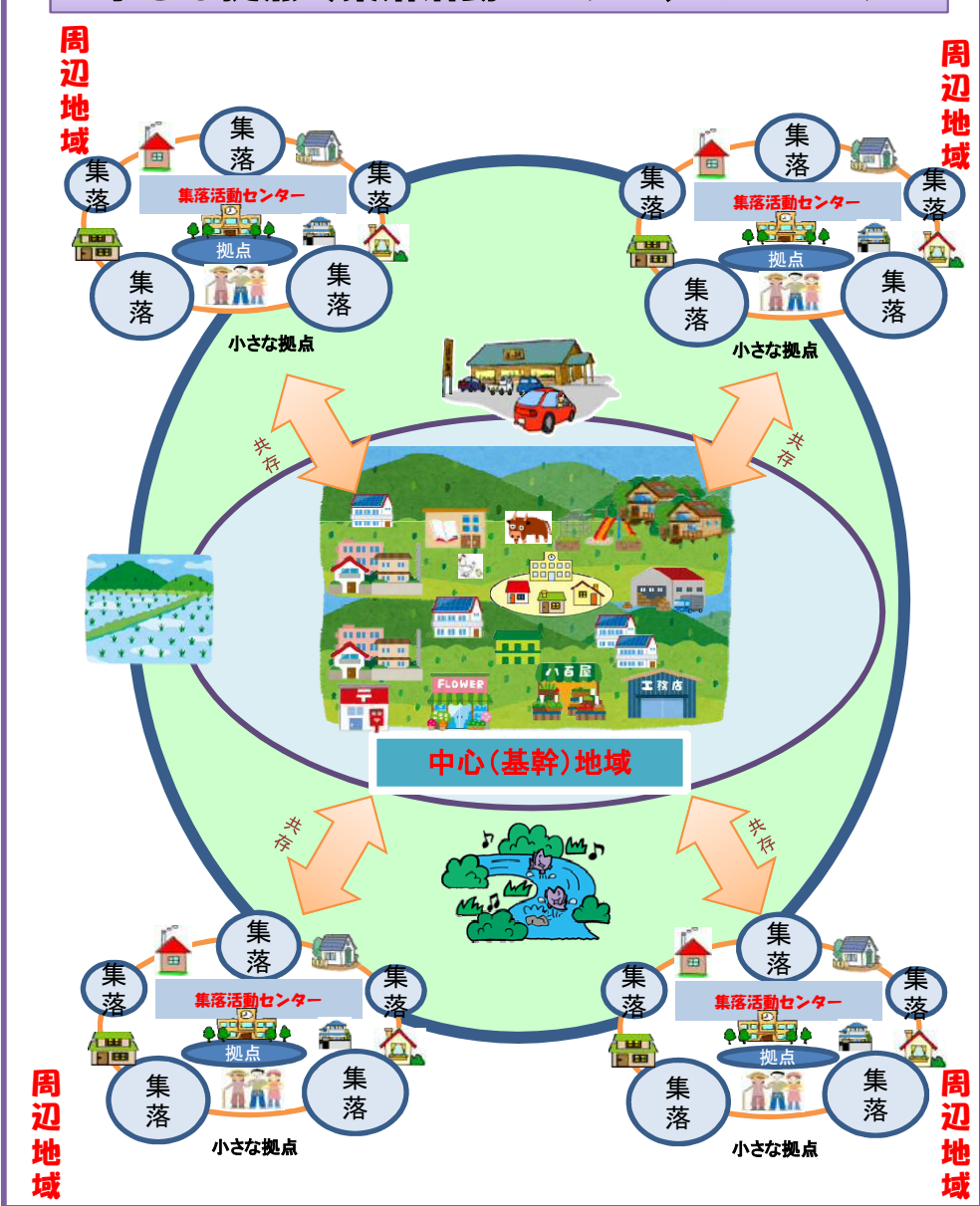
広がる民間企業との連携

- 「高知家」のPR、移住希望者向けの引越料金の割引
連携先企業：(株) サカイ引越センター
ヤマトホームコンビニエンス (株)
- 住宅リフォーム料金の割引
連携先企業：住友不動産 (株)
- 都市部人財と、県内の人財ニーズのマッチング支援
連携先企業：(株) パナソニック、マンパワーグループ (株)、
テンプスタッフキャリアコンサルティング (株)



中山間地域の維持・再生に向けて『小さな拠点』の整備の促進

小さな拠点（集落活動センター）のイメージ



集落活動センターの概要



具体的な取り組み

活動のイメージ



「集落活動センター」を核とした中山間地域の維持・再生の仕組みづくり（H24～）

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み



・H26年6月末現在で14ヶ所を開設
・10年間(H24～33)で130ヶ所を目標

暮らしを守る

地域の支え合い、助け合いによる安心・安全の確保

- 生活支援サービス
- 集落活動サービス
- 安心安全サポート
- 防災活動
- 健康づくり活動

地域の支え合いのネットワーク

未来を拓く

地域の資源や人を生かした産業づくりや交流などによる活性化

- 農産物等の生産販売
- 特産品づくり・販売
- 交流・定住促進活動
- エネルギー資源活用
- 鳥獣被害対策

地域経済の循環に向けたネットワーク

集落活動センターを通じた取り組み

まち（地域）づくり

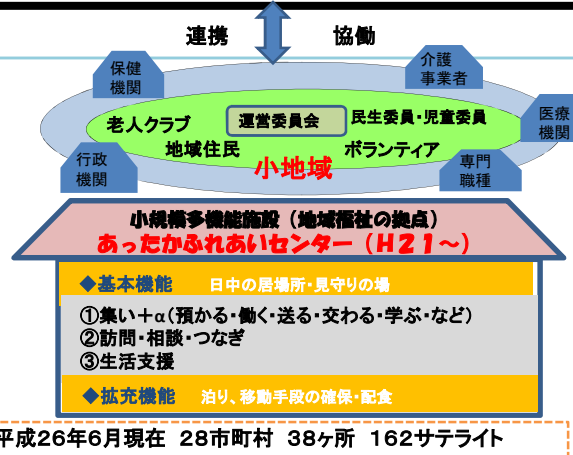
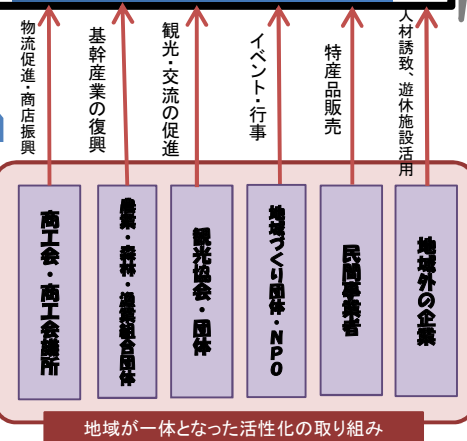
- ◇地域の絆の再構築
 - ・住民や集落相互の支え合い、助け合いの仕組みづくり
- ◇集落活動の維持
 - ・共同作業、コミュニティ活動の継続、伝統文化・行事の継承
 - ・集落連携による集落活動、コミュニティ活動の再構築
- ◇住民力・地域力の強化
 - ・行政主導から住民主導の取り組みへの転換、
 - ・住民力アップ、住民参加の仕組みづくり、住民意識の向上
- ◇公共サービスの再編
 - ・住民力を生かした新たな地域主導の仕組み（拠点とネットワーク）
 - ・住民と一体となった官民協働による行政サービスの仕組み
 - ・地域の資源や公共施設等の集約・再編

人づくり

- ◇地域内の人材の育成
 - ・地域づくりや産業の後継者の育成
 - ・地域福祉活動などのリーダーの育成
- ◇女性の積極的な活用と育成
 - ・センターの取り組みへの女性の参加促進と育成
- ◇地域外からの人材の確保
 - ・地域おこし協力隊等の地域の外部人材の導入
- ◇Uターンを受け皿づくり
 - ・移住の相談窓口の開設、農地や空き家の紹介

仕事づくり

- ◇中山間地域の基幹産業の再生
 - ・新規の就農者や自伐林家の確保、育成
 - ・集落営農、集落営林の取り組み促進
- ◇中山間地域の強みを生かした小さなビジネスの推進
 - ・地域の資源を生かした6次産業化や特産品づくり
 - ・地域外との交流、観光
- ◇雇用の場の創出
 - ・センターの取り組みを通じた雇用の場づくり（店舗経営、宅配サービス、農産物の集出荷、福祉活動など）
- ◇起業の環境づくり
 - ・地域おこし協力隊など、外部人材による新たなビジネスづくり
 - ・シェアオフィスによる企業や人材の誘致
- ◇遊休資源の活用
 - ・遊休施設、耕作放棄地、手入れをしていない森林の有効活用



中山間地域の集落の維持・再生

中山間地域の人口減少の歯止め

集落活動センターの開設状況

平成26年6月末現在

